

令和7年4月25日
デジタルサービス局

～ 都民と共に創るアプリ ～ 「東京都公式アプリ」の将来像を公表

東京都は、本年2月に東京都公式アプリ(以下「東京アプリ」という。)を一部のサービスからリリースしましたが、この度、都民の皆様とともにより使いやすいアプリを創り上げていくため、『東京都公式アプリ(東京アプリ)』について「～都民と共に創るアプリ～」を公表します。

この中で東京アプリの将来像、また、主な機能や今後のロードマップなどを説明しています。

東京アプリは都民一人ひとりがスマホ一つで行政とつながり、より便利になったと実感してもらうとともに、災害時にも都民の安全を守るアプリを目指します。コロナ禍では、デジタル化の遅れが顕在化しましたが、東京アプリ一つで、都民が簡単・便利・安全につながる、新たな行政の形を作っていきます。

この公表を契機として、より早い段階から多くの都民の皆様に応用いただき、寄せられた声を基に、より良いアプリとしてまいります。また、アプリの開発を担う GovTech 東京の開発力を強化するため、エンジニアやデザイナー等を募集しています。

『東京都公式アプリ(東京アプリ)』について」の概要

○ 東京アプリの将来像

都民一人ひとりがスマホでつながる、新たな行政の形

⇒ 行政サービスを東京アプリでひとつにつなげ、都や区市町村の様々なコンテンツのプラットフォームを目指します。

<現状>

・行政サービスへのアクセス方法がバラバラ



・まずは東京アプリが様々なサービスやアプリと連携



東京アプリからいろんなサービスにつながって便利

<将来的に>

・東京アプリで行政サービスを一元化！

東京都・区市町村の様々な
コンテンツのプラットフォームに



○ 今後実装していく東京アプリの主な機能

- ・ 様々な行政手続をオンラインで実施

スマホ一つで、窓口に行かずにより迅速な手続きが可能に

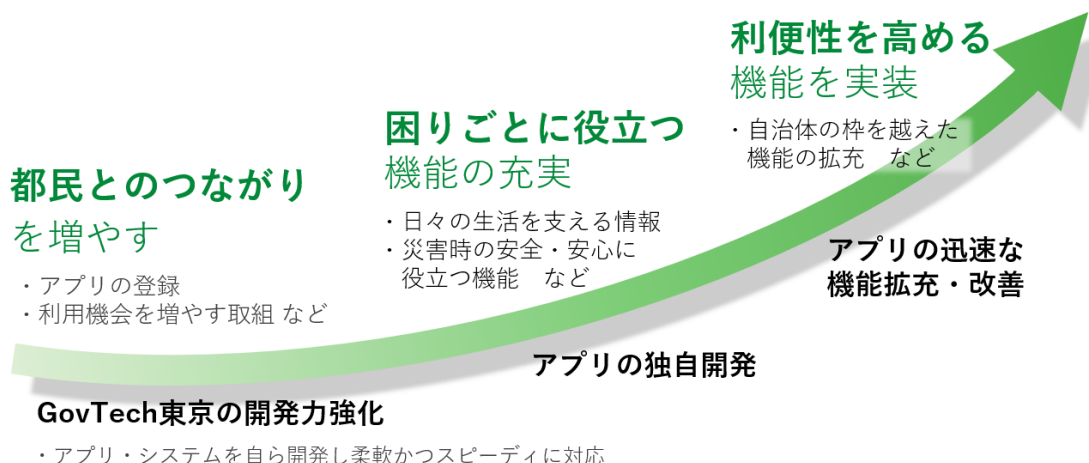
- ・ AI により行政手続をサポート

24 時間 365 日いつでも行政に対する質問ができ、AI を通じて的確にサポート

- ・ 日常使いから災害時まで、様々なアプリとの連携
日常生活で使用する便利な機能に加え、災害時にも活用できるアプリとも連携

○ ロードマップ

アプリ開発を担う GovTech 東京と協働し、都民の利便性を高める機能を段階的に実装していきます。



一般財団法人 GovTech 東京で、東京アプリに携わるメンバーを募集中です。

詳しくはこちらから。<https://www.govtechtokyo.or.jp/recruitment/>

詳細につきましては、以下ホームページをご覧ください。

東京都公式アプリホームページ <https://www.tokyoapp.metro.tokyo.lg.jp/>

※ご意見は東京都公式アプリをダウンロード後に、アンケートのコーナーからお寄せください



▲東京都公式アプリ
ホームページ

東京都公式アプリのダウンロード



▲iOS
はこちらから



▲Android
はこちらから

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。

戦略 11 デジタル「都民の QOL に貢献するスマートシティの実現」



▲2050 東京戦略

一人ひとりと生きるまち。



【問合せ先】

デジタルサービス局デジタル戦略部
デジタル企画調整課
TEL: 03-5388-2341

「東京都公式アプリ（東京アプリ）」について

～ 都民と共に創るアプリ ～

2025/ 4 /25

Ver 1.0

B.C. (before COVID) から A.D. (age of DIGITAL) へ

コロナ禍では、FAXや紙などアナログと言われるやり方により、

電話がつながりにくい、

給付金が届くまで時間がかかる

など

デジタル化の遅れ

という現実を突き付けられました。

B.C. before COVID

PCR検査を予約したいけど
電話がつながりにくい
並ばないといけない



陽性と言われたけど、
この後どうしたらいい
か分からない



正確な情報が分からない
接種券がいつくるか分か
らない



新たな行政の形 ～ # 行政をポケットに～

デジタルの力で、

都民一人ひとりがスマホ一つで行政とつながる

より便利になったという実感を都民に届ける

それが

東京都公式アプリ（東京アプリ）です。

A.D. age of DIGITAL

東京と“つながる”アプリ

- 👉 行政サービスへアプリ一っで“つながる”
- 👉 簡単、便利、安全に“つながる”
- 👉 必要な情報にタイムリーに“つながる”



一人ひとりの力が東京の未来に“つながる”

東京アプリの主な機能



ひとつのIDで様々な機能にログイン

- ・ 様々な行政手続をオンラインで実施

- ・ AIによる行政手続のサポート

- ・ 給付金の申請、受領

- ・ 都政への提案、アンケート機能

- ・ 社会的意義のある活動にポイント

- ・ 個人あてのお知らせ機能

- ・ 災害時などに活用できる様々なアプリとの連携

- ・ ニーズに応じて便利な機能を追加・拡充

今後のロードマップ

- アプリ開発を担うGovTech東京と協働し、都民の利便性を高める機能を段階的に実装していきます。

都民とのつながり を増やす

- ・ アプリの登録
- ・ 利用機会を増やす取組 など

困りごとに役立つ 機能の充実

- ・ 日々の生活を支える情報
- ・ 災害時の安全・安心に役立つ機能 など

利便性を高める 機能を実装

- ・ 自治体の枠を越えた機能の拡充 など

アプリの迅速な 機能拡充・改善

アプリの独自開発

GovTech東京の開発力強化

- ・ アプリ・システムを自ら開発し柔軟かつスピーディに対応

- 様々な機能を実装しながら、現在はバラバラになっている行政への窓口を、
東京アプリで一つにつなげていきます

<現状>

- ・ 行政サービスへのアクセス方法がバラバラ

- ・ まずは東京アプリが様々なサービスやアプリと連携



<将来的に>

- ・ 東京アプリで**行政サービスを一元化！**

東京都・区市町村の様々な
コンテンツのプラットフォームに



東京アプリでできるようになること

- 都民の皆さんの利便性を高める、安全・安心に資する様々な機能を今後段階的に実装することで、生活や暮らしがより便利になったという実感を届けます

■様々な行政手続をオンラインで実施

都税に係る証明書の交付申請や各種申込など、行政手続をデジタル化することで、窓口に行かずにより迅速な手続きが可能に

都民の「手取り時間」が増える

24時間365日、場所にとらわれず手続きが可能に



■AIによる行政手続のサポート

24時間365日いつでも行政に対する質問ができ、AIを通じて的確な回答を得ることが可能に

AIで都民の困りごとに寄り添う

情報収集から手続きまで**サポート**、悩みにきめ細かに対応



東京アプリでできるようになること

■給付金の申請、受領

給付金の申請から受領まで、スマホで行えるようになり、簡単・便利に手続きを終えることが可能に

給付金を受け取るまでの時間が大幅に短縮

給付金事務のワンストップ化により、**迅速な給付が実現**



■都政への提案、アンケート機能

都政への提案フォームをデジタル化することで、提案者は場所・時間に制約されずに提案が可能に

いつでも行政に声が届けられる

日常の困りごとや行政への意見を簡単に行政に届けられる



東京アプリでできるようになること

■個人あてのお知らせ機能

マイナンバーカードで本人確認された東京アプリの登録情報も活用し、各種支払や健診などの一人ひとりに必要な情報を、アプリから受け取ることが可能に

一人ひとりに必要な情報が確実に届く

知りそびれ、申し込みそびれ、もらいそびれがなくなる

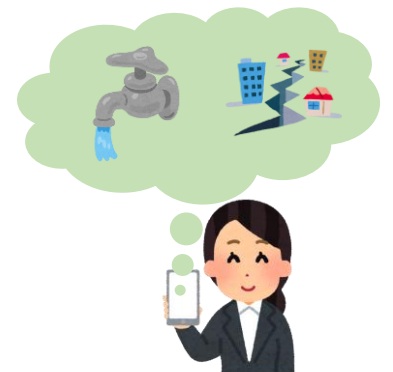


■日常使いから災害時まで、様々なアプリとの連携

水道料金の支払いや交通情報など、日常生活で使用する便利な機能に加え、災害時にも活用できるアプリとの連携など、様々な機能をスマホ一つで利用可能に

都民生活に簡単、便利、安全を提供

東京アプリから様々なサービスに一元的にアクセス可能



東京アプリでこう変わる（具体的イメージ）

例：給付金の支給のシーン

- 新型コロナの感染拡大や物価高騰など、緊急課題に対して、これまで都は全国に先駆けた協力金の創設をはじめ、独自の各種給付事業を実施してきました
- 給付金等の支援策について、デジタルの力でより迅速に、より効率的に実施していきます

Before

給付金支給までの期間について

- ・ 時短協力金の支給に、紙ベースの申請では、給付まで20日程度の期間を要した

給付に必要な事務費について

- ・ 都民への給付などの事業実施に伴って、人件費などの事務に係る費用が発生

※コロナ禍では、様々な給付や貸付等の支援を実施。5年間の事務費は全体で1,000億円以上

After

給付金を迅速に都民にお届け

- ・ 紙の申請書を提出しなくても給付を受けられることで、迅速な給付が実現

デジタルの力で給付事務を効率化

- ・ 本人確認をスムーズに行うこと等で、給付事務が効率化、事務費が圧縮

※今後予定している「つながるキャンペーン」の事務費は事業費総額の1%未満

東京アプリでこう変わる（具体的イメージ）

例：保育園入所までのシーン

- 保育園探しは、保育施設の情報収集、見学予約、入所申請をそれぞれ別々に行わなければならない、保護者にとって大きな負担となっています

Before

情報収集が困難

- ・ 保育施設の情報分散しており、保護者が必要な情報を集めるのに多くの時間と労力を要する

見学予約が不便

- ・ 保育施設の見学予約が電話や直接訪問で行われることが多く、予約が取りにくい状況

入所申請が煩雑

- ・ 申請手続きが複雑かつ、複数の書類提出が必要

ホームページとにらめっこ
保育園に片っ端から電話

After

情報の一元化

- ・ 保育施設の情報オンラインで一元化され、保護者が簡単にアクセス可能

見学予約の利便性向上

- ・ Webから見学予約が可能になり、保護者が希望する日時に、5分もかからず簡単に予約完了

入所申請の簡便化

- ・ オンラインで完結でき、手続きが大幅に簡素化

電話や役所に出向くなど
アナログな手続きから解放！

東京アプリでこう変わる（具体的イメージ）

例：スポーツ施設などの利用シーン

- スポーツ施設や体育館、ホール・会議室など公共施設を利用する際には、複数の予約システムが存在していて、予約から利用までの手続きも異なる場合があります

Before

施設の予約が大変

- ・ 施設ごとに連絡先を調べなければいけない
- ・ 施設によっては、スマホから予約できない場合も
- ・ ID、パスワードは別々
- ・ 支払い方法も施設によってまちまち

現在は施設ごとに手続きが
まちまち、スマホで完結しない



After

様々な公共施設が一元的に予約可能

- ・ スマホで便利に簡単に手続き完了
（分からないことはAIがサポート）
- ・ 一つのID、パスワードでログイン完了
- ・ 支払いもキャッシュレスor東京ポイントで

スマホ一つで
施設予約から支払いまで完結



東京アプリでこう変わる（具体的イメージ）

例：災害発生時のシーン

- 災害発生から避難生活、生活の再建に至るまで、どのように対応したらいいのか、被災による身体的・精神的な負担を抱えながら対応しなければいけません

Before

正しい情報が何かわかりづらい

- ・ SNSなどから様々な情報が流れてくるため、混乱を起こしやすい

避難所での受付で長い待ち時間

- ・ 避難所受付で、本人の情報を手書きで登録
- ・ 列に並ぶため身体的な負担大

生活再建に係る手続きが多く、煩雑

- ・ 自分が必要な手続きが分からない
- ・ 手続きの申請に時間がかかる

After

アプリを通じて適切な情報を発信

- ・ デマ情報への注意喚起や、都民に安心感を与える情報をアプリを通じてプッシュ型で発信可能

QRコード等を活用し避難先を簡単に登録

- ・ QRコード等を使い、情報を手書きで記入することなく簡単にチェックインが可能に
- ・ 在宅避難など自主避難先も位置情報等を使って登録

生活再建に必要な手続きをアプリで完結

- ・ り災証明の発行や生活再建支援金・仮設住宅の申込等の様々な手続きを東京アプリで申請



都民一人ひとりとつながるために

都民生活の利便性向上はもとより、
いつ起きてもおかしくない危機に対して、「備えよ、常に」のもと
早い段階から、都民とアプリでつながることが重要です。

今後予定している「**つながるキャンペーン**」を、
アプリの普及と都民の生活応援につなげ
多くの都民に利用していただく重要な機会としていきます。

都民と共に創るアプリ

より早い段階から、
より多くの都民の声を聴きながら、
より使いやすいアプリを都民と共に創り上げる

都民の皆様と行政をデジタルでつなげるという将来の行政のあり方を
社会に提示し、全国にも貢献していきます。

東京アプリにこうした機能があったら便利では、といった
ご意見・ご感想を、ぜひお寄せください。

※東京アプリのトップページ〈アンケート一覧〉にある「東京アプリに関するご意見」
からお寄せください。

東京アプリのダウンロードはこちら



▲iOSはこちらから



▲Androidはこちらから